

病院からのコメント（一部抜粋）

2-2大手町岩端医院からのコメント

・・・（中略）・・・

当医院において平成18年1月から12月の間にレーザー治療と従来の不妊治療を行った患者さんは40名で、平均年齢は 36.2 ± 10.2 歳でした。対照として従来の治療のみの患者さんは

159名で、平均年齢は 32.7 ± 15.3 歳でした。妊娠率はレーザー実施者で52.5%、未実施者で39.6%でした。年齢別にみると30歳未満、30～34、35～39、40歳以上では、レーザー活性化治療実施者では33.3%、80.0%、50.0%、36.4%、未実施患者で48.5%、42.0%、35.4%、11.1%でした。（表14）

治療法	年齢			
	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40歳～
レーザー活性化治療	33.3%	80.0%	50.0%	36.4%
従来の治療	48.5%	42.0%	35.4%	11.1%
増加率	67%	190%	141%	328%

表14 レーザー活性化治療における妊娠率（大手町岩端医院）

2-3大城クリニックからのコメント

・・・(中略)・・・

レーザー活性化治療(LLLT)は、全身の血流を良くし、それに伴ってホルモンバランスを整えます。また、局所においては生殖器周りの血流が良くなり、質の良い卵子が得やすくなり子宮内膜の状態も良くなります。

LLLТでは、妊娠の確立を上げ、着床し易くなり、慢性的な疲労、肩こり、便秘、手足の冷えなどのいろいろな症状が和らぐばかりでなく、全身のホルモンのバランスが良くなり、卵子の質や子宮内膜の厚さの改善も得られるようです。従って、LLLТは、基礎疾患がある方や高齢の方にとっては、体質改善に有効な治療と考えられます。私のクリニックが世界ではじめて、レーザー活性化治療を始めた病院であり、難治性不妊症を中心に治療してきましたが、表15のようにLLLТを始めた1996年以来69人のレーザーベビーが誕生し、女兒が31人、男児が38人となっています。

表15 難治性不妊症患者の治療実績
(1996.10～2008.12)

患者数	562名
年齢	26歳～52歳
平均年齢	39.34歳
妊娠数	122名(21.7%)
出産数	62名(50.81%)
出生児数	69名
男児	38名
女兒	31名
平均不妊期間	4.12年
ART等の平均治療回数	8.38回
LLLТの平均治療回数	12.49回
IVF	79名
自然妊娠	28名
AIHAID	11名
GIFT	3名
ZIFT	1名

(大城クリニック)